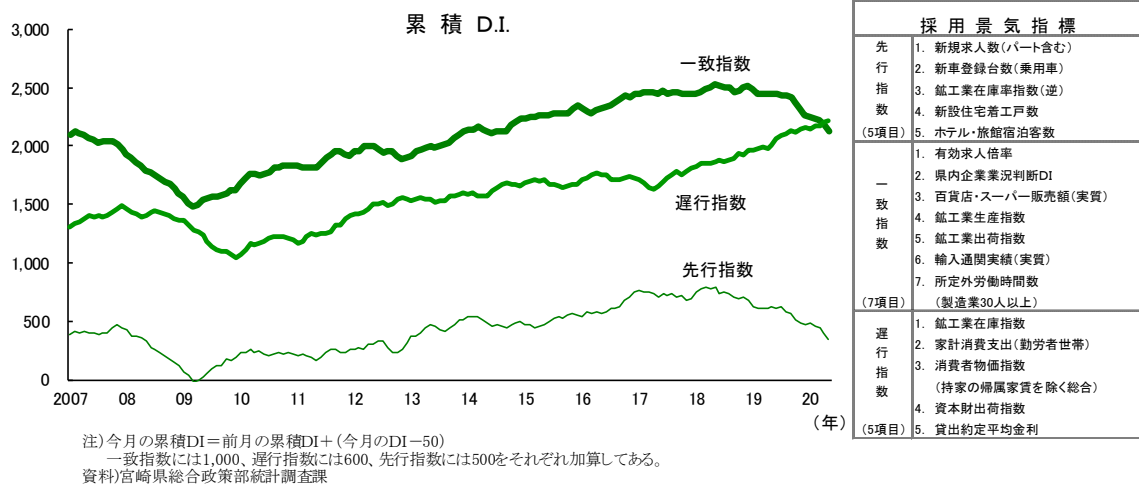


## 1. 景気動向指数

2020 年 6 月の景気動向一致指数は、有効求人倍率、県内企業業況判断 DI、鉱工業生産指数、鉱工業出荷指数、輸入通関実績（実質）、所定外労働時間数の 6 項目がマイナスとなり、全体では 14.3%と 13 カ月連続で 50.0%を下回った（7 項目のうちプラス 1、マイナス 6）。

先行指数は、新車登録台数（乗用車）、鉱工業在庫率指数（逆）、新設住宅着工戸数、ホテル・旅館宿泊客数の 4 項目がマイナスとなり、全体では 20.0%と 5 カ月連続で 50.0%を下回った（5 項目のうちプラス 1、マイナス 4）。

遅行指数は、家計消費支出（勤労者世帯）、資本財出荷指数、貸出約定平均金利の 3 項目がマイナスとなり、全体では 40.0%と 5 カ月ぶりに 50.0%を下回った（5 項目のうちプラス 2、マイナス 3）。



景気動向指数：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を 3 カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したもの。景気の現状を表す一致指数と、一致指数に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指数、数カ月遅れて動く遅行指数の 3 つがある。一致指数が数カ月連続して 50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指数の算出方法

景気動向指数=(プラス項目数+横ばい項目数×0.5)÷(プラス項目数+横ばい項目数+マイナス項目数)×100(%)

## 2. 鉱工業生産

6 月の鉱工業生産指数は、81.8 で前年同月比 11.7%減と 9 カ月連続で前年を下回った。

主要業種別にみると、電子部品・デバイス（同 7.3%増）、化学（同 34.0%増）が前年を上回ったものの、食料品（同 10.9%減）、繊維（同 25.4%減）が前年を下回った。

## 3. 建設関連

### ① 公共工事

8 月の公共工事請負金額は、142 億 9,700 万円で前年同月比 10.0%増と 6 カ月連続で前年を上回った。

発注者別にみると、国が同 74.1%増、県が同 47.4%増、市町村が同 27.7%減、その他（独立行政法人等）が同 50.4%減となった。

### ② 着工建築物

7 月の着工建築物は、棟数は 466 棟で前年同月比 15.1%減、床面積は 7 万 9,635 ㎡で同 32.7%減となった。

内訳をみると、居住用は棟数同 13.7%減、床面積同 28.8%減となり、非居住用は棟数同 19.8%

減、床面積同 37.2%減となった。

非居住用の床面積を用途別にみると、鉱工業用同 17.6%減、商業用同 80.3%減、サービス業用同 4.9%減となった。

### ③ 住宅着工

7月の新設住宅着工戸数は、貸家が前年を上回ったものの、持家、給与、分譲が前年を下回り、県内合計は508戸で前年比22.8%減と3カ月連続で前年を下回った。

市郡別にみると、市部は持家、給与、分譲が前年を下回り合計は450戸、同22.7%減となった。また、郡部合計は58戸、同23.7%減となった。

(利用関係別)

持家は243戸、前年比22.4%減となった。

貸家は183戸、同12.3%増となった。貸家を建築主体別にみると、公営住宅（前年0戸→本年10戸）、民営貸家（同163戸→173戸）ともに前年を上回った。

分譲は80戸、前年比55.1%減となった。一戸建て（前年52戸→本年80戸）は前年を上回り、マンションは着工がなかった（前年126戸）。

## 4. 個人消費関連

### ① 百貨店・スーパー販売動向

7月の百貨店・スーパー販売額は、63億1,900万円で前年同月比1.8%減と5カ月連続で前年を下回った。

商品別では、衣料品は9億5,400万円で同17.0%減、飲食料品は34億8,000万円で同2.4%増、その他計は18億8,500万円で同0.2%減となった。

### ② 乗用車新車販売動向

8月の乗用車新車登録台数は、1,394台で前年同月比20.1%減と11カ月連続で前年を下回った。

車種別にみると、普通車は638台で同31.2%減、小型車は756台で同7.6%減となった。

## 5. 空港乗降客数

8月の宮崎空港乗降客数は、7万1,379人で前年同月比77.5%減と7カ月連続で前年を下回った。

乗客数は3万5,987人（前年16万1,345人）と減少し、降客数も3万5,392人（前年15万5,287人）と減少した。

## 6. 消費者物価指数

7月の宮崎市の消費者物価指数は、102.0で前年同月比0.5%増となった。

これを費目別にみると、家具・家事用品（前年同月比5.8%増）、食料（同3.0%増）、教養娯楽（同1.4%増）など6費目が上昇した。

## 7. 企業倒産

8月の企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は2件で前年同月比50.0%減となった。負債総額は4,200万円で同75.7%減と8カ月ぶりに前年を下回った。

## 8. 雇用情勢

7月の有効求人倍率は、前月と同水準の1.10倍だった。

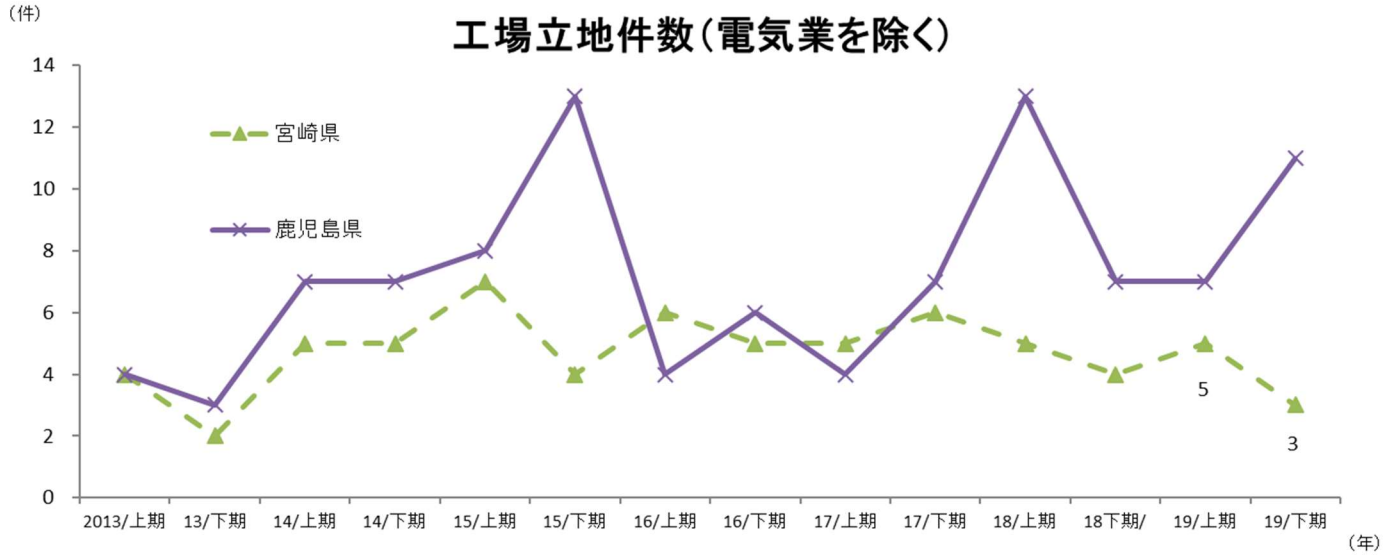
新規求人数は、7,797人で前年同月比7.5%減となった。

農、林、漁業は68.3%増、複合サービス事業は62.0%増など3産業が増加となった一方、卸売業、小売業は44.2%減、製造業は32.2%減、サービス業（他に分類されないもの）は30.2%減など15産業が減少した。

雇用保険受給者数は、5,013人で同9.8%増と2カ月連続で前年同月を上回った。

## 〈今月のトピックス〉～ 宮崎県の工場立地件数

宮崎県の2019年の工場立地件数は8件（上期5件、下期3件）で、前年比で1件減少した。内訳をみると食料品、木材・木製品は各2件、化学工業、金属製品、輸送用機械器具、ガス業は各1件となっている。



注) 2019年は速報値

資料)九州経済産業局「九州の工場立地動向調査」